

二水会

会報 116号



令和5年4月

姫路南プロバスクラブ

# 姫路南プロバスクラブ 例会報告(2月)

〈役員会〉日時：令和5年2月8日(水) 午前11時00分～

〈例会〉日時：令和5年2月8日(水) 午前12時30分～

出席15名 欠席3名

## ◇委員会報告

### ※総務委員会

- ①2月例会 講演・ホテル日航姫路 山田総支配人  
「コロナ禍におけるホテル日航姫路の取り組み」
- ②2月の誕生 藤原会員
- ③3月例会 3月8日(水) 12時30分  
会員卓話 総務委員会 稲田会員「食の安全保障」  
※なお、11時から「梅の間」にて役員会を行います。  
例会終了後、記念誌打ち合わせを行います。(担当の方のみ)
- ④4月18日(火) 令和5年度総会 午前11時開会  
※なお、10時30分から「梅の間」にて役員会を行います。
- ⑤市長講話 1月30日南ロータリー例会で姫路市長の講話が予定されて  
いましたが、2月20日(月)に延期となりました。  
参加希望の方はお知らせ下さい。現在3名参加予定。

### ※研修親睦委員会

- ①3月15日 親睦ゴルフコンペ
- ②3月27日 赤穂、相生、姫路南3クラブ合同コンペ 相生
- ③7月3日 赤穂、相生、姫路南3クラブ合同コンペ 龍野クラシック





## 姫路南プロバスクラブ 例会報告(3月)

〈役員会〉日時：令和5年3月8日(水) 午前11時00～55分 8名

〈例会〉日時：令和5年3月8日(水) 午前12時30分～14:20  
出席17名 欠席1名(休会・伊藤)

### ◇委員会報告事項

#### ※総務委員会

- ①3月例会 会員卓話 稲田会員 「食の安全保障」
- ②3月の誕生 大橋会員 田中会員 梶原会員
- ③定時総会 4月18日(火) 午前11時 ホテル日航姫路「萩の間」  
なお、10時30分から役員会を行います。(新役員含む)
- ④3月5日(日) 国際ロータリー地区大会 今年度は不参加
- ⑤3月27日(月) 南ロータリーフォーラム、ほろにが会 於・播磨国総社  
大橋副会長(フォーラム・ほろにが)、  
岡本会員(フォーラムのみ)参加
- ⑥本日例会後、記念誌の打ち合わせを行います。担当者

#### ※研修親睦委員会

- ①3月15日 親睦ゴルフ
- ②3月27日(月) 赤穂、相生、姫路南3クラブ合同コンペ

#### ※会計

- ①ニコニコ報告 明石(今年度最期、ニコニコに協力に感謝) 大橋(稲田様の卓話、楽しみ) 梶原(11日で73歳) 田中(82歳誕生日、感謝) 坪田(ゴルフ80台)

濱口（いつもニコニコ）クラブより（旅行残金）

②役員会 4月7日(金)午後1時 年度決算、予算説明を行います。

出席者＝中野会長、大橋副会長、濱口会員、明石会員。岡本会員

③会員入会年 2003年（明石、伊藤、大橋、岡本、近藤・故、中塚、中野）

2007年（濱口）2009年（益田）2013年（田中）2014年（長谷川、前田）

2016年（松下）2017年（稲田、川本）2018年（藤原）2019年（市河）

2021年（坪田）2022年（梶原）



## 会員卓話 稲田会員 「食の安全保障」

国家安全保障三つの柱 ①軍備 ②エネルギー ③食料

コロナパンデミック（世界で感染者数 950 万人、死者 106 万人で欧米で約半数）

ロシアのウクライナ侵攻（米のウクライナへの武器供与、プーチンの反発）

世界で食料・肥料争奪戦、ウクライナのシードバンクは世界最大級、

石油価格の上昇、代替え燃料（バイオエタノール、バイオジゼル）需要上昇

米は日本に対して食糧は武器であり、畜産の飼料の穀物も供給をコントロール、

日本の食糧自給率、カロリーベースで 37%、肥料、種、ヒナ、飼料は全て

輸入に頼っている。農業は国の本なり、水稻栽培は欠かせない。



会員卓話 稲田会員

## 『4万 km を歩いた男、伊能忠敬の「人生二度有り」』（シリーズその19）

松下秀明 記

### 山片蟠桃(やまがたばんとう)の商売と学問の二刀流？(つづき)

池内了氏の『江戸の宇宙論』に、蟠桃の面白い記事がある。「蟠桃は「天文第一」の序盤で、グレゴリオ暦を基礎にしつつその不合理さをなくし、さらに二十四節気の配置が規則的になる日本独特の暦を作ってみせた。立春を元旦とし、奇数月は31日(1月のみ30日で閏年は31日)、偶数月は30日と定める。二十四節気は自然観察を基にした季節判断として科学的であり、元来太陽の働きに準拠して定められたものであるから、毎月1日を「節(気)」とし、月の半ばの16日または17日が「中(気)」となるよう配置する。だから、この暦では何十年何百年経っても節季の日付は変わらない。また、月の日数が規則的で小の月を「西向く士」と覚える必要がないという良さもある」と記している。現在の私たちが使っているグレゴリオ暦は節気と月の最初の日が一致していないが、蟠桃の暦はきちんと対応するのだ。ちなみに天文学者で宇宙物理学者の池内了氏は姫路市の出身で、最近『姫路回想譚』という本も出している。

私事になるが、蟠桃の生まれたのは播磨国印南郡神爪村(現高砂市米田町神爪)。JR宝殿駅のすぐ西側。私の父の実家は米田町平津で、同じ町内のJR宝殿駅の東側。よく実家に遊びに行ったのでその近辺は知っているが、著名人の蟠桃や松右衛門の故郷が同じ地域にあることは知らなかった。よく遊びに行った従兄弟が荒井町に住んでいるが、そこから松右衛門の生まれた故郷にも近い。松右衛門は竜山石で高砂の湊を整備し、忠敬は蟠桃と兄弟弟子の至時や重富から天文学を教えてもらった。つぎつぎと点の事実が線となり、面となって広がっていった。まさに人生の醍醐味である。

### 灘のけんか祭りは高田屋嘉兵衛のおかげ？

姫路市の浜手に有名な灘のけんか祭りがあある。私も何度か見に行ったが案外狭い場所が多くて多くの屋台が競り合うため、本当にけんかをしているような風景が見られる。

文政五年ごろ、姫路藩でも百姓一揆が大規模で起こった。特に、街道より北側と海岸沿いでは経済的な豊かさが大きく違っていた。海外沿いは鍛冶屋、塩田、海運、漁業、瓦製造などで潤っていた。当時、河合寸翁は姫路藩の依頼に応じて、丁度財政の立て直しを行っていた。亀山雲平顕彰会の代表長野哲氏は講演会で、「その格差のある状態で、一揆の影響を受けて暴動や反乱が起こったらまずいと、(中略)アドバイスを求めたのが高田屋嘉兵衛。(中略)高田屋嘉兵衛が各地で商売をしてきた経験から、「祭政一致」といって、祀りごとを盛大にすることで富を分散することが、一番効果があるということ寸翁に進言しました。(中略)そして最初に5台(ヤッサ)作って、陸路をゴロゴロ引っ張って持ってきてくれました。先に3台を木場、八家、東山に、後の2台は少し遅れて盆までに、松原、女鹿に到着しました。その費用は1台1000両、5台分の5000両は高田屋嘉兵衛が出してくれました」と話した。ただし、今の豪華な「ヤッサ」になったのは明治以降で、亀山雲平が松原八幡神社の祠官としてきてから以降のことだそう。

### 河合寸翁は、高田屋嘉兵衛のおかげで姫路藩の借金 73 万両を返済できた

河合寸翁は、姫路藩家老・川合宗見の子として生まれ、幼名は「猪之吉」、のち「隼之助」と改名している。のちに、藩主酒井忠道より「道臣」の名を下賜され、晩年「寸翁」と号した。姫路藩も天明の大飢饉で大きな被害を受けた。アクセス解析研究所のブログによると、「1808年、酒井忠以(宗雅)のあと家督を継ぎ、次の姫路城主になった嫡男・忠道(ただひろ、ただみちとも)の命により、寸翁は再び、藩の財政改革を遂行することになる。(中略)姫路藩も藩の7年分の収入に当たる73万両(現在の価値にして約480億円)という負債を抱えていたといえます。(中略)なかでも著名な政策展開は、特産物の姫路木綿の専売制とその江戸直積みです」ということで、徳川第11代将軍・家斉の後押しで大坂商人から売買権を姫路藩直轄とすることに成功し、年に24万両(約158億円)の正金銀が入るようになり、あっという間に借金を返済し、蓄財までできたと言われている。これは嘉兵衛が蝦夷地との交易で、良質な肥料の干鰯(ほしか)を手に入れ、さらに近隣の農家を綿栽培への転換を奨励して作付面積も増やしたことが理由であった。

余談であるが、姫路では河合寸翁は絶大なる人気を誇っている。寸翁は養蚕所、織物所、染色工場、陶器所などの設立を図り、農業以外に収入の道を開いた。それ以外に、かりんとうで有名な常盤堂のホームページによると、「姫路を中心に代々作られてきた播州かりんとうの起源は、江戸時代、姫路藩の家老であった河合寸翁の命を受け、当時の長崎に派遣された菓子職人がオランダ商館で製法を学んだものが広まりました」とある。寸翁は茶人でもあったため、和菓子にも造詣が深く、玉椿で有名な伊勢屋のホームページによると、「由来書によりますと、この店の先祖が、天保年間、姫路藩家老河合寸翁の推挙により、江戸の菓匠、金沢丹後大掾の門に学び数種の菓子を考案した内の一つとされています。姫路に帰ったのち、寸翁がこのお菓子を玉椿と命名し、以後、姫路藩の御用菓子として世に名高い銘菓となったということです。(中略)天保年間、11代将軍徳川家斉の娘(喜代姫)と姫路城主酒井忠学との婚礼の頃に作られました」とある。姫路市民にとってなじみのある、かりんとうや玉椿などが、財政再建の先覚者寸翁によって作られたことは興味深いことである。また、将軍家との直接の親戚関係を作ることで、前



述の木綿の専売権を得たといわれている。ちなみに「玉椿」とは「ツバキ」の美称だそう  
だ。

## 綿は世界最古のグローバル商品？ イギリスの産業革命を導いた？

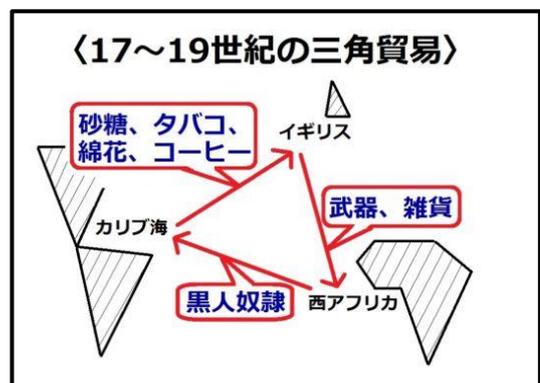
少し余談になるが、姫路藩の膨大な赤字を救った綿産業について、世界の動きを少し述べてみたい。綿栽培の歴史は遙か古代から始まっている。学校法人角川ドワンゴ学園のニュースによると、

「綿栽培の最古の遺跡はメキシコで発見されており、すでに約 8000 年前には栽培されていたことが明らかになっています。旧大陸では、現在のインドで約 7000 年前に木綿が栽培されていたことが分かっています。また前 2500～前 1500 年ごろのインダス川流域にあるモヘンジョダロの遺跡からは、綿織物を生産していた痕跡が見つ



ています。(中略) 前 327 年、インドに遠征したマケドニアのアレクサンドロス大王は、そこでインドの人々が着ている綿織物の衣服に目を奪われました。自分たちが来ているウールや麻の衣類に比べ、軽くて、吸水性も良く、快適そうなものだったからです。(中略) アレクサンドロス大王はこの遠征からの帰途、インド産の綿織物をアラビアやヨーロッパにもたらします。これがきっかけとなりエジプトでは綿花栽培が始まるのですが、ヨーロッパではやはり気候の問題があり、地中海に面した一部の地域でしか根付きませんでした」ということで、インドから安価なキャラコ(キャラコ)が大量にイギリスに流入した。インドキャラコの東西流通には当初アルメニア人が大きな役割を担っていた。アルメニア王国(黄色が古代のアルメニア)は、301 年に世界ではじめてキリスト教を国教としたことで、ヨーロッパの人たちも取引がしやすかったのだろうといわれている。アルメニア人は綿花の栽培、紡績、捺染などすべての工程をインドやイランで学び、世界中にその技術を伝えた。その後、東インド会社がインドの綿織物を一手に引き受けた。綿織物(綿布)はその主要な積み出し港の地名であるカリカットからキャラコといわれるようになった。ただし、捺染についてはイギリスで職人が不足し、その解決策として産業革命で誕生した、グーテンベルグの印刷術が応用された。今でいうプリントである。

イギリスを始めヨーロッパでは気候が寒く、綿花が栽培できず、その為イギリスがとった戦略は三角貿易(右図)と呼ばれるものであった。カリブ海のプランテーション経営者は砂糖やたばこを栽培していたが、そこに綿花の栽培を持ち込んだのである。その綿花の原料をイギリスに持ち込み綿織物として生産し、それを西アフリカで販売し、そのお金で西アフリカの奴隷を買い、カリブ海のプランテーションに送り込んだのである。何故なら、東インド会社がインドから輸入した美しく



肌触りのよいキャラコは、ヨーロッパ人を魅了し、特に女性はたちまちドレスなどに利用した。部屋のカーテンにも最適だし、ベッドのシーツやカバーにもなる。軽くて暖かくて肌着にしてもよかった。インドから大量の綿製品が入ってくることで、それまでの毛織物や麻織物の産業が壊滅的な状態になった。それに対抗する手段であった。

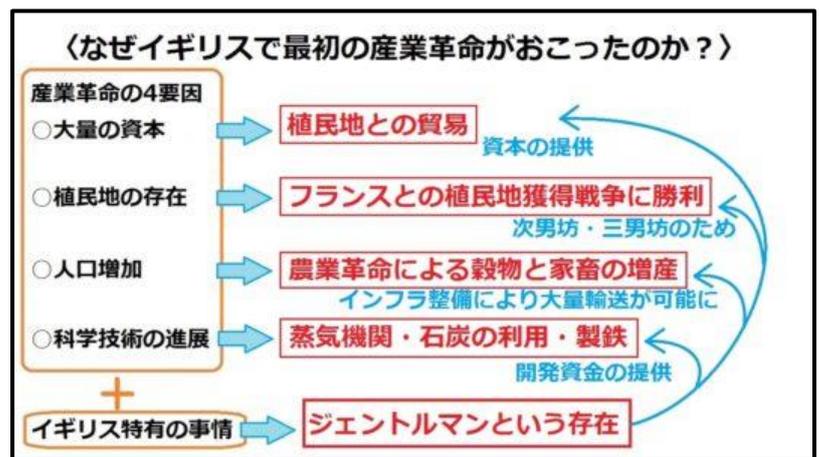
さらにインドの安価で高品質な綿製品に勝つため、イギリスは産業革命を起こしたのである。この産業革命が発展していくには大きく5つの理由がある。①原料の入手先や製品の輸出先としての植民地があった、②科学技術が進歩した、③大量の資金が調達できた、④人口の増加(労働力)が得られた、⑤ジェントルマンの活躍、などが挙げられている。

③の科学技術の進歩は、ちょうどルネサンスを迎えて宗教改革が起こり、宗教的な縛りが一気に解き放たれた。イギリスは17世紀においてすでに、ピューリタン革命と名誉革命という2つの革命を経験し、政治の主権は王様から議会へと移っており、科学技術の進歩を後押しした。繊維業界においては、次々と新しい技術や機械が誕生し、インドとの競争力をつけていった。

⑤のジェントルマンの活躍は、革命に必要な膨大な資金援助と、革命を成功させなければいけないという社会的責任感が大きく貢献している。個別指導塾「進学塾センシン」の代表 松本悟氏のブログによると、「もともとのジェントルマンの母体は、中世の騎士階級に当たります。14~15世紀という中世の末期、火砲が発明されたことで戦術が変わり、騎士は戦争での役割を失っていきました。

それで騎士階級は軍役を免除され、代わりに退職金をもらって、地方の地主となっていました。こうした地方地主をイギリスでは「ジェントリ」と呼びます。(中略) またかれらは中世の騎士道精神を受け継ぐとともに、ルネサンス時代のヒューマンイズム精神も取り込みました。そのため、社会に奉仕することこそがジェントルマンの役割だと、自他ともに考えるようになりました。(中略) イギリスの場合、道路や鉄道、港や運河などの社会資本は、国家予算ではなくてジェントルマンの私的なお金で整備されたのです」と書かれている。その全体像が分かりやすく図にされている(右図)。

ちなみに「産業革命」という言葉が学術用語として定着したのは、19世紀後半のイギリスの経済学者、アーノルド・トインビーが本のタイトルに使ってからだといわれている。この産業革命の波が明治の日本に押し寄せるのである。



## 「コットン」と「リネン」と「麻」は何が違うのか？

キャラコはインド以外ではコットンと呼ばれている。同じような長い歴史と高品質の繊維に「リネン」がある。その違いを少し述べたい。リネンがはじめて繊維として使われ始めたのは、紀元前8000年頃。人類最古の文明・メソポタミア文明が生まれたチグリス・ユーフラテス川付近で使われ始めたという記録が残っている。古代エジプトではピラミッド内の壁画にその収穫の様子が描かれ、神事に使われたり、ミイラを巻く布として使われたりしている。リネン(linen)は糸や線を意味する「ライン(line)」や下着を指す「ランジェリー(lingerie)」といった言葉の語源にもなっている。



「麻」とは植物から作られる繊維の総称のことを指している。リネンは亜麻科のフラックス(右図上)という植物の茎からとれた繊維で、コットンはワタ属(右図下)の植物の種を守る毛のようなものである。吸水性や保温性、通気性や速乾性はリネンの方が優れているといわれている。コットンはかつてヨーロッパでは想像が出来ず、ウールに似ていることから、羊のなる植物があるのだらうと想像したとスケッチにも残っている。日本では、昔は「腸」を”わた”と読み、衣類の中に綿毛を詰めることから、体の腸に見立てて「わた」という名になった。リネンは寒冷地での栽培に適しているが、コットンは温暖化地域なので、世界中で栽培され、価格が安かったのでコットンがグローバル商品となった。以上



## 『 元気な脳の作り方 』

中野 剛 記

脳の元気と若々しさのカギを握るのは年齢よりも日頃の脳の使い方。

うれしいことに、毎日のちょっとした習慣で脳が喜び、どんどん元気になることが脳の最新研究で分かってきました。日常生活の中には、簡単にできる、“能にいい事”が沢山あるのです。

### 脳を輝かせる“宝の山”は生活の身近なところに！

脳は一度形づくられると、年とともに衰えていくだけ。ほんの数十年前はそんなふうに思われていましたが、脳には私たちが考えている以上に変化する力(可塑性)があり、何歳になって脳の機能を高められることが報告されています。そもそも脳の若々しさには個人差があるので、年齢だけでは判断できません。脳は80歳、90歳、100歳を過ぎても、自分の力で脳の中に新しい道を作る事が出来ることが分かっており実際に高齢なっても脳の中が若い人とあまり変わらない人もいます。理由として様々な要素が考えられますが、脳の研究が進む中で、ヒントは日頃的生活習慣にあることが分かってきました。特に健康維持にいいのが運動と知的活動、会話(コミュニケーション)の3つ。また食事、睡眠も重要とされています。そして、何をやる時にも大事なものは、楽しいと感じながらやることです。例えば誰かと会話をしているときには、脳の様々な領域が活発に働いていますが、楽しいおしゃべりで、話が盛り上がれば、脳はさらに喜び、活性化します。

また、運動でも、趣味でも、自分が楽しいと感じている時や没頭している時

には、脳はとても活発に働いています。”脳にいい事”は実に生活の身近なところであり、知らないうちにやってくることも多いでしょう。簡単なことをちょっと楽しむだけで脳は元気になるのです。

### 継続のコツは“出来ることを少しずつ”

若々しい脳を維持するために、“脳にいい事”は長く続けていきましょう。今やっている運動や趣味があれば、楽しく継続していくことが脳には一番です。例えば、筋トレなら「腕立て伏せ一回だけ」ウォーキングなら

「靴を履くだけ」でいいのです。ばかばかしいと思わずに続ける事、それが習慣になって、やらないと気持ちが悪くなり「もっとやりたい」と思うようになるでしょう。脳はいくつになっても変化しますから「年だから・・・」「いまさら・・・」などと考えるのはもったいないことです。むしろ「やれば出来るのに、やってなかっただけ」「やる時間が人より短かっただけ」と考えると、脳は喜び、やる気が湧いてくるのではないのでしょうか。そして元気な脳のために、運動と知的活動、会話などとともに忘れてはいけないのが、食事。何をどれだけ食べるかで脳の働きも違ってきます。毎日の食生活にも十分気を配りましょう。

(スマートエイジング学際重点研究センター及び加齢医学研究所教授・医学博士の記事より引用) 以上



中野会長・全日本プロバス協議会・八王子大会に参加

## 親睦ゴルフコンペ

3月15日 相生カントリークラブ 成績表

ランク	氏名	O	I	G	H	Net
(優勝)	松下秀明	45	50	95	19.2	75.8
(2位)	中野 剛	49	51	100	24.0	76.0
3位	長谷川正子	49	50	99	22.8	76.2
4位	坪田一夫	42	54	96	16.8	79.2
(BB)	前田外美子	50	55	105	21.6	83.4
6位	大橋一喜	56	70	126	36.0	90.0



みんなが主役、

みんなが脇役

『はなみずき』 4月12日

楽しくなければ

“ 私の想いを受けてください ”

プロバスではない

川 柳

もう駄目だと言って

10年生きる友

欲しいのは平和で

普通その暮らし



濱口浩平 選

### 《 編集後記 》

本年度も最後になりました。皆様には会報に協力頂きまして暑く御礼申し上げます。新年度は人事変更になり別の方が担当されますので何卒宜しくお願い申し上げます。

第116号 令和5年4月12日 姫路南プロバスクラブ（二水会）  
姫路市南駅前町100 ホテル日航姫路601号室  
姫路南ロータリークラブ事務局内  
電話 079-224-8224（FAX288-3941）  
会報発行：総務委員会・広報担当・濱口浩平